

120702 食物連鎖

先週の水曜日(6/27)、アシナガバチのハンティングを観察することができました。

今回の画像は、肉食昆虫の少々“過激”な捕食の姿を捉えた写真ですので、苦手な方はご覧になられない方が良くも知れません...

ハチの種類は「キアシナガバチ」です。

襲われたのは「エダナナフシ」です...

写真 : 「エダナナフシ」に「キアシナガバチ」が馬乗り...

ナナフシは背中に乗ったハチを振り払おうとしているのか、体を必死にくねらせているようでしたが...

写真 : 危うし「ナナフシ」

どうやら「ハチ」は、足の付け根を集中攻撃しているようです...

写真 : 顔に...

「ハチ」が顔に噛みつきました。

「ナナフシ」の抵抗する動きも、ついに止まってしまいました...

写真 : 運びやすいように...

「ハチ」は、「ナナフシ」の足を噛み切り、運びやすいようにほぼ3等分にしたようです。

写真 : 切り分けた一つを抱えて...

巣に持ち帰るのでしょうか、飛び去っていきました。

その姿を目で追うと、30mくらい先の樹林内に消えていきました。

写真 : 飛び去った後...

3つに切り分けた後、その1つを抱えて飛び去っていきましたが、残りの部分はどうするのでしょうか？

写真 : 戻ってきました...

3分ほどしたら、再び戻ってきました。

しかし、場所を忘れたのか、あたりを何度も飛び回り探しているようでしたが...やがて見つけて、2つ目を抱えて飛んでいきました。

スズメバチやアシナガバチは、捕まえた獲物を「肉団子」にして巣へ持ち帰る、と聞いたことがあります。必ずしも“団子”のように丸めるというわけではなく、運びやすいように切り分けている様子を観察することができました。

「ナナフシ」には非常に気の毒でしたが、「ハチ」にとっては子育てのための貴重な食料になったのでしょう。















